

令和4年度 事業報告書

当協会は、県内の地域防災力の向上を図ることを目的として、県内各市町及び消防本部等関係機関と連携・協力し、防火防災の普及啓発をはじめ、消防技術の向上や消防活動の強化及び消防団員の活性化支援等に資するため、令和4年度は、以下の事務・事業を実施いたしました。

I 法人の運営【法人会計】 経常費用（決算額）：2,928,321円

1 県消防協会（組織の概要）

（1）役員（理事・監事）及び評議員等

- 総 裁：県知事
- 会 長：川上 清記（雲仙市消防団長）
副会長（4名）：森 能範（平戸市消防団長）
本田庄一郎（島原市消防団長）
佐々木眞登己（長崎市消防団長）
神之浦伊佐男（五島市消防団長）
- 常務理事（1名）・理事（17名）
- 監 事（3名）
- 評議員（17名）
- 顧 問（3名）
- 事務局：事務局長（非常勤：県職員兼務）、次長（常勤：県OB）、書記（常勤）

（2）会員数（令和4年10月1日現在）

- 消防団数（21団、うち女性消防団員を有する消防団20団）
- 消防団員数（定員20,853名・実人員18,150名、うち女性団員数382名）

2 法人の管理・運営事務

（1）県消防協会主催会議の開催

県消防協会の事業運営を円滑かつ適正に行うため、次の会議等を開催

- | | | |
|---------------|-----------|---------------|
| ① 理 事 会（4回） | 第1回理事会 | 令和4年 5月16日（月） |
| | 臨時理事会 | 令和4年 5月31日（火） |
| | 理事会（書面会議） | 令和4年10月13日（木） |
| | 第2回理事会 | 令和4年11月26日（土） |
| ② 評 議 員 会（2回） | 定時評議員会 | 令和4年 5月31日（火） |
| | 評議員会 | 令和4年11月26日（土） |

- | | | |
|-------------|----------|---------------|
| ③ 幹部理事会（4回） | 第1回幹部理事会 | 令和4年 4月28日（木） |
| | 臨時幹部理事会 | 令和4年 8月 6日（土） |
| | 第2回幹部理事会 | 令和4年11月11日（金） |
| | 第3回幹部理事会 | 令和5年 3月31日（金） |
| ④ 監事監査会（1回） | | 令和4年 5月10日（月） |

（2）日本消防協会等主催会議への出席

※川上会長：日本消防協会理事、全日本消防人共済会総代

森副会長：日本消防協会評議員、全日本消防人共済会総代

（任期は会長は6年6月、森副会長は8年6月開催の日消定時評議員会まで）

① 消防協会九州ブロック協議会

九州ブロック定例協会長会議

開催中止

② 日本消防協会・全日本消防人共済会

1) 理事会・評議員会・総代会

令和4年 6月21日（火）

令和5年 3月 2日（木）

2) 都道府県消防協会事務局長会議

令和5年 2月22日（水）

③ 日本消防協会福祉共済事業等運営委員会

令和4年 5月25日（水）

令和5年 2月22日（水）

3 情報の提供・収集

（1）県消防協会

① ホームページによる情報提供

<http://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/anken-anshin/bosai-kokuminhogo/kankeidantaikikan/syouboukyoukai/>

② 機関誌「まとい」第50号発行

（2）日本消防協会

① 日本消防協会の機関誌「日本消防」を各市町消防団、消防本部、市町等に配布

※本県消防団の活動状況に関する記事の掲載（実績なし）

② 季刊誌「いきいき消防」の配布、新入団員用「守れ わがまち」の斡旋・配布

③ 日本消防協会提供「おはよう！ニッポン全国消防団」（ニッポン放送）

大村市消防団 田中哲也 分団長 出演

II 公益目的事業 1

経常費用（決算額）：5, 141, 501円

防火防災意識の向上と防火防災思想の普及促進を図り、消防団員の士気の高揚と団結強化を推進するための事業

1 消防団大会

令和4年6月25日（土）、第75回長崎県消防団大会を佐世保との共催により「アルカス佐世保」で3年ぶりに開催

受章者、来賓、県内消防団員等、約550名が参加

大会では、消防団表彰として、叙勲の披露、消防庁長官表彰の伝達、知事表彰、日本消防協会長表彰の伝達とともに、県消防協会長表彰を授与

① 県消防協会表彰

県内市町・消防本部から推薦の消防団及び消防団員（職員）について、県消防協会定款施行規則に基づき、幹部理事会の表彰審査会において表彰者等を決定

- ・ 竿頭綬（無火災）長崎市消防団第16分団、佐世保市消防団第57分団、島原市消防団第2分団、同第4分団、同第12分団、同第15分団、同第19分団、諫早市消防団多良見支団第2分団、同第3分団、同第6分団、同第7分団、同第10分団、同第12分団、松浦市消防団第21分団、雲仙市消防団瑞穂支団第3分団、同千々石支団第2分団、同千々石支団第6分団、南島原市消防団西有家地区第3分団、同地区第4分団、新上五島町消防団若松地区第6分団、同有川地区第1分団、同地区第2分団、同地区第4分団

- ・ 感謝状9名

2 消防殉職者慰霊祭事業

① 長崎県消防殉職者慰霊祭

令和4年11月26日（土）、県消防殉職者慰霊祭をご遺族、来賓等約120名の参列を得て、長崎県庁1階大会議室において、無宗教、献花方式で厳かに実施

- ※ 消防活動中に殉職された本県の消防団員（職員）の功績を称え、その遺徳を偲ぶために開催、明治42年以降、308柱が合祀

② 第41回全国消防殉職者慰霊祭

令和4年9月15日（木）、出席者を限定してヤクルトホールにて開催

- ※ 明治以降、殉職された全国の消防団員（職員）・消防協力者の功績を称え、その遺徳を偲ぶために開催（殉職者数：5, 784柱（新たに8名合祀））

3 防火啓発事業

(1) 県消防協会

① 防火ポスターコンクール作品募集

秋の全国火災予防運動に合わせて、県内小学生（4年生以上）を対象に、防火啓発事業としてポスターコンクールを実施

○ 消防本部・市町村を通じて募集

- ・応募総数 246点（小学校 33校）
- ・最優秀賞 雲仙市立小浜小学校4年 茂 愛優花さん

（県教育委員会の協力を得て審査会実施）

最優秀賞（1名）には賞状と1万円相当の図書券、優秀賞（2名）には賞状と5千円相当の図書券、佳作（4名）には賞状と3千円相当の図書券入賞者を除く応募者全員に、参加賞として蛍光マーカー各1本を贈呈

② 最優秀作品を火災予防広報ポスターとして作成

1,000枚作成し、各消防団、市町、消防本部に配布、掲示

(2) 全日本消防人共済会

① 全日本消防人共済会が主催する防火ポスターの図案募集への協力

県内小中学生を対象に各消防本部・市町を通じて募集

小学校の部、中学校の部に各1点を全日本消防人共済会に推薦

- ・応募件数 3点（小学校1校、中学校2校）

【全日本消防人共済会での審査結果】

優秀賞 壱岐市立石田中学校2年 田町日渚さん

賞状及び記念品（図書カード）贈呈

参加賞1名に、記念品（千円の図書カード）贈呈

② 第22回全国中学生「防火・防災に関する」作文募集への協力

県内中学生を対象に各消防本部・市町を通じて募集、応募者なし

Ⅲ 公益目的事業2

経常費用（決算額）：13,645,164円

消防団員の技術向上、体力を練成するための健康増進・資質向上のための研修会等の事業

(1) 県消防協会

① 長崎県ポンプ操法大会

令和4年8月7日（日）、4年ぶりに第37回長崎県消防ポンプ操法大会を県消防学校で開催

小型ポンプ操法の部 11 チーム、ポンプ車操法の部 5 チームが参加
小型ポンプ操法の部で五島市消防団が優勝し、全国大会に出場
ポンプ車操法の部は島原市消防団が優勝

② 消防研修事業

○ 消防団員指導員課程研修

令和 4 年 1 月 7 日（月）～ 8 日（火）の 2 日間、消防団員指導員養成を行う研修を長崎県消防学校の協力を得て実施

対象は、消防団活動の中核になる消防団員でかつ指導能力のある各消防団長からの推薦者、本研修は、「消防団員研修実施要綱」に基づく日本消防協会からの委託事務で、研修交付金（研修参加旅費、講師の旅費・謝金、図書資料等）を受け実施
県内 4 市町消防団 14 名出席

③ 健康増進・体力練成事業

令和 5 年 1 月 23 日、消防団員の健康増進及び公務による事故防止のため、アルコールチェッカー 351 個を 21 消防団に配布

④ 女性消防団員研修事業

令和 5 年 3 月 4 日（土）、第 20 回長崎県女性消防団員研修会をサンプリエール大会議室で開催、県内 10 市 2 町から消防団長及び女性消防団員等 70 名余が参加
（株）デザイン・スーパーマーケット代表取締役、古澤高志講師による「マーケティング思考で考える広報戦略テクニック」と題しての講演と、アンケートに対する意見交換、グループ討議、発表を通じ、意識の共有化を企図

⑤ 表彰事業

○ 県消防協会長定例表彰

令和 5 年 1 月 5 日～ 10 日にかけて県内の出初式に会長、副会長出席
消防に関して功績があった消防団員及び協力者等の表彰は次のとおり

表彰者総数 2,202 名

特別有功章 250 名、有功章 630 名、精続章（金・銀）695 名

表彰状 6 名、感謝状（1 号～ 4 号）621 名

（2）日本消防協会

① 第 29 回全国消防操法大会

令和 4 年 10 月 29 日（土）、第 29 回全国消防操法大会が千葉縣市原市で 4 年ぶりに開催され、県代表として、五島市消防団が出場し、優良賞受賞

② 第27回全国女性消防団員活性化徳島大会

令和4年11月22日(火)、徳島市の「アスティとくしま」で開催

※ 全国の女性消防団員が一堂に集い、日頃の消防団活動や先進的取組みについて情報交換し交流することにより、その活動をさらに活性化させ、地域防災力の向上に資することを目的として実施。

ア 参加者：約1,000名が参加(通常時の1/3)

長崎市、佐世保市、諫早市、壱岐市、雲仙市及び南島原市など15名が参加

イ 活性化大会概要

・防火防災啓発劇(3団体)、昼食、記念講演「喜びを力に・・・」有森裕子
パネルディスカッション、アトラクション

ウ 情報交流会は中止

③ 第75回日本消防協会定例表彰式

令和5年3月3日(金)、ヤクルトホールにて規模を縮小して開催

本県より川上会長、森副会長が出席、長崎県関係の表彰は、令和5年6月10日開催予定の第76回長崎県消防団大会(雲仙市)において、伝達

1) 消防団表彰

・優良消防団 表彰旗 南島原市消防団
竿頭綬 松浦市消防団、川棚町消防団、佐々町消防団

2) 消防団員(職員)表彰

・功績章 20名(うち女性消防団員1名)
・精績章 46名(うち女性消防団員1名)
・勤続章 178名

④ 女性消防団員制服等の交付(新規入団員が対象)

※実績：本県該当なし

⑤ 第49回消防団幹部特別研修 令和5年1月17日(火)～20日(金)

※消防団の災害対応能力の向上と活性化を図るため、上級幹部に対し各種研修を実施し、消防団の指導者を養成することを目的に実施、本県参加者なし

⑥ 第22回消防団幹部候補中央特別研修(男性団員の部)

令和5年2月1日(水)～2月3日(金)

※消防団の幹部候補者として活動が期待される消防団員に対し、特別研修を実施

し、将来の消防団幹部を養成することを目的として実施。

原則として年齢が40歳以下、団歴が概ね3年以上、階級が分団長以下、
精績・活動実績等が優秀である者。

※ 本県から諫早市消防団員（2名）が受講。

⑦ 第22回消防団幹部候補中央特別研修（女性団員の部）

令和5年2月15日（水）～17日（金）

※消防団の幹部候補者として活動が期待される消防団員に対し、特別研修を実施し、将来の消防団幹部を養成することを目的として実施。

原則として年齢が49歳以下、団歴が概ね1年以上、階級が分団長以下、
精績・活動実績等が優秀である者 本県参加者なし

IV 収益事業等（その他1） 経常費用（決算額）： 405,184円

日本消防協会が消防団員等を対象として、各種共済事業を実施

当協会は、福祉共済制度事務費と福祉事業助成金を日本消防協会から受けて、加入事務、掛金の徴収、共済金の請求事務等の窓口業務を実施

1 消防団員福祉共済事業

令和4年度加入者数 17,526名（全市町加入）

令和4年度福祉共済給付件数及び給付額

遺族援護金	12件	12,000,000円
障害見舞金	5件	1,170,000円
生活援護金	2件	1,820,000円
入院見舞金	1,042件	21,817,500円
合計	1,061件	36,807,500円

2 火災共済事業

令和4年度加入市町 長崎市、島原市、諫早市、平戸市、壱岐市、雲仙市、
長与町、川棚町、波佐見町、新上五島町の10市町

加入者数 4,126名

給付件数及び給付金額 0件

3 婦人消防隊員等福祉共済事業

令和4年度加入者数 159名

令和4年度共済金給付（入院見舞金） 3件 59,400円

4 防災車両等の交付

- 消防団活動車（ワンボックス型）を1台、佐世保市消防団に交付

5 消防団幹部職章の斡旋 4セット（長崎市 1、佐世保市 3）

V 収益事業等（その他2） 経常費用（決算額）： 2,670,058円

1 長崎県消防協会福祉厚生事業

消防団員が死傷された場合の弔慰救済、子弟に対する育英事業等を実施

昭和45年度から6年間で県、市町村、消防団員、民間からの寄付で合計1億円を造成し、その運営果実によって福祉事業を実施、平成2年度から平成24年度（終了）までに団員1人、年500円の寄付金の拠出、令和3年度の果実積立により造成し、令和5年3月31日現在、額面349百万円の国債を運用中

※令和4年度 長崎県消防協会福祉厚生事業

弔慰金の給付	15名	1,880,000円
育英給付金	1名	360,000円

VI 収益事業等（その他3）

1 消防団員応援優遇事業

消防団員の処遇改善並びに団員の増加に資することを目的として、地域ぐるみで消防団を応援するため、県内の事業所の協力を得て消防団員への優遇措置を講ずる事業

- ・県内の事業所や店舗等が「消防団員応援の店」として登録
- ・会員証を提示した消防団員及び家族に対して各種サービスや割引等の優遇措置実施
- ・消防団員募集ポスターを店舗内に掲示するなど、消防団員への支援に協力依頼

登録店舗（R5.3.31現在） 122店舗

（うち日本消防協会が行う全国消防団応援の店に74店舗登録）